

さくら会 会報

植草学園創立120周年を前にして

学校法人 植草学園 理事長 植草 和典

植草学園の創立120周年が近づく中で、今日のような植草学園があるのも先達の皆さんの努力があつてのことと思うことが多くなりました。そんな先達の方々から、連絡を頂くことがあります。連絡を頂いた時は、できる限り訪問し話を聞かせていただきます。これまで、若葉区の介護施設に暮らす藤代ときさん(当時102歳)、群馬県にお住まいの高木治美さん(当時86歳)を訪ねました。藤代さんは昭和初期の千葉和洋裁縫女学校に在籍した生徒さんで、高木さんは戦後復興した植草服装専門学院の生徒さんでした。2人とも、在籍していた頃のことをよく覚えていて、懐かしむように当時のことを話してくれました。

また、先日は大木みわ(元植草短大教授)先生から連絡があり、自分の高校の同級生、大野氏という方の母親(大野寿美子先生)がかつて千葉和洋裁縫女学校の教師をしていたというのです。早速に、八街市にお住まいの大野氏宅を訪ね、当時の写真を見せてもらいました。写真は昭和2年頃、何らか行事の後に教職員と全校生徒とで撮ったもので、私は初めて見るものでした。写真前列の中央には、黒い紋付き袴の植草たけ先生が座っており、風格と威厳を感じます。大野氏が母親から聞いた話で、たけ先生は面倒見のよい人で、入職後すぐに名刺が与えられ、住まいの世話までしてくれたそうです。また、裁縫技術を教えるだけでなく、瓶細工(フラスコの中に人形細工)や修身などの授業があり、教養教育も重視されていたことが分かります。このことは、藤代さんの話とも一致しました。大野氏との面会は、植草学園の歴史の一端を確認する貴重なものでありました。

同窓生の皆さんへお願いします。植草学園の古い資料や写真をお持ちの親族やお知り合いの方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介下さい。特に、戦前のものは焼失して学園にはほとんど残っておりません。来年に創立120周年を迎える植草学園の歴史をできる限り後世に残したいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



ご挨拶

植草学園さくら会 会長 木村 昌代

同窓会会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
令和5年8月5日に開催されました「令和5年度植草学園さくら会総会」でご承認をいただき、小林鶴枝前会長の後を受けて会長職を務めさせていただくこととなりました。木村昌代でございます。(附属高等学校卒)
さくら会の基礎を築いてくださった小林会長はじめ役員の皆様の、これまでのご尽力に対しまして心から感謝申し上げます。同窓会活動におきましてはまだまだ微力な私でございますが、創立120周年を迎える植草学園と同窓会の更なる発展に尽力していきたい所存でございます。
同窓生の皆様におかれましても、これまで以上に同窓会活動に関心を持っていただき、積極的に参加していただけますようお願い申し上げます。
今後とも、植草学園さくら会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

植草学園さくら会
令和5年度活動報告

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 令和5年8月5日(土) | 第1回理事会 令和5年度植草学園さくら会総会 |
| 2 緑栄祭 令和5年11月11日(土) | 植草学園さくら会企画「大抽選会」(第13回) |
| 3 令和6年2月17日(土) | 第2回理事会 |
| 4 同窓会報発行 | 附属高等学校、短期大学、大学 同窓生に発送 |

植草学園大学

会長挨拶

植草学園大学同窓会 会長 半田 貴大



いつも同窓会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。コロナが落ち着き平穏な日々が戻ってくると思いましたが、今年度はインフルエンザが猛威をふるっていますね、卒業生の皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。日々元気に過ごされていることを願っております。

さて、今年度の同窓会の大きな動きとしましては卒業生の皆様にお声かけをし、緑栄祭に模擬店を出店したことがひとつあげられます。

チョコバナナ、うどん、フランクフルト、わたあめ、古着販売、コーヒー、スープ等多くの卒業生の皆さんのおかげで緑栄祭を盛り上げることができました。

皆様には感謝申し上げるとともに、来年度も共に出店いただけることを楽しみにしております。また新規出店も募集予定ですので、ぜひご学友とご参加ください。当日の飲み代くらいは稼げますよ！笑

今後も皆様に楽しんでもらえるような企画・運営を行ってまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。各イベントでまた皆様とお会いできることを願っております。

学長挨拶

植草学園大学 学長 中澤 潤

発達教育学部では令和4年度末に小学校教諭23名、特別支援学校教諭25名、公務員保育士7名の成果を上げることができました。令和5年度の大学ランキング(朝日新聞出版)で、植草学園大学は「保育士就職率」で全国5位、幼稚園教員+保育士採用者数で関東(東京以外)4位でした。令和5年度も引き続き充実した指導の成果を期待しているところです。

保健医療学部リハビリテーション学科は令和5年の入学生を迎え、学科が完成しました。理学療法士の令和4年度の国家試験合格率は93%でした。令和5年度末には作業療法専攻の第1期生がいよいよ国家試験に挑みます。

現在、大学では国立病院機構千葉医療センターをはじめとする千葉市近郊の国立病院と連携し、看護学部の設置準備を進めています。看護師を目指したいという方が周囲におられたら、ぜひお勧めいただければと思います。



先生からメッセージ



発達教育学部 金子 功一 先生

本学に着任し、あっという間に時が経ちました。初任の頃は学内の教室の場所も分からず、学生さん達に尋ねることもありましたが、今では初任の先生方や新入生さん達に教える立場になりました。皆さんは、本学で学んだ日々や学生生活を思い出すことはありますか？私はというと、教育や研究活動を継続し学生指導に励んでいます。また私生活では結婚し、2人の子どもの生まれ、現在子育てに奔走しています。皆さんもそれぞれの目標をもち、「今」という時間を大切にしながら、職場や家庭などで充実した日々を過ごしてほしいと思います。またこれから実習生をはじめとする本学生達のサポーターとなっていいただければ幸いです。

植草学園はこれからも皆さんのサポーターです。いつでも植草学園に遊びに来て、ゆっくりしていただきたいと思います。



保健医療学部 水江 年城 先生

4年が経過しました。入職し退職(卒業かな)。学生さんから多くのことを学びました。それは授業よりも1対1での対応を通じての学びです。研究室には多くの学生さんが1人でやってきました(私は1人で来ることに意味があると考えています)。同じ質問があれば、「えっ！」と驚くような質問もありました。私もそうです。自分の理解をさらけ出して人に相談してみてください。必ず自分が磨かれると考えます。恥ずかしいけど。



保健医療学部 山崎 郁子 先生

早いもので2020年に、植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法専攻が出来て4年目になります。本大学卒業の作業療法士第一期生が誕生します。皆さんおめでとうございます。最初の一年目はコロナ禍に入った年でもあり、折角専攻教員を独り占めできる年を、交流を深めるのに困難な面がありました。しかし皆さんは、毎年新しい後輩が入学してくるたびに一期生としての自覚とともに成長を続けています。卒業後も専攻の一期生は一期生、後輩とのつながりを大切にリードして欲しいと思います。

活動記録

緑栄祭

2023年11月11日(土)

チョコバナナと
手をつなぐ
うえたら♪



今年度は久しぶりに学園関係者以外にもたくさんのお客さんたちにも遊びに来ていただき、賑やかな学園祭となりました！

さくら会では抽選会を開催、大学同窓会ではうどんの販売を行い、みなさんの笑顔が多く見られ素敵な時間を過ごすことができました♪



お越しいただいた方々ありがとうございました(*^-^*)

卒業生の声



植草学園大学 発達教育学部
発達教育支援学科 卒業
12期生
坂本 愛

私は、植草学園大学附属弁天こども園で2歳児の担任として働いています。初めて担任として保育に入り、子どもとの信頼関係を築いていくために、子どもとの関わり方や声かけの仕方等を日々工夫しながら関わることを大切にしています。中でも、子どもの気持ちに丁寧に寄り添い、受け止めながら関わる難しさを強く感じ、今でも試行錯誤しながら関わっています。

また、保護者の方とも話す中で、子どもの様子で気になること等にも丁寧に向き合い、一緒に関わり方を考える大切さとその難しさを身に染みて感じます。さらに、先輩の先生方と一緒に保育を行なう際に、子どもとの信頼関係を築いていくために、子どもにどのように成長して欲しいかを考え、一人一人の子どもと向き合っている大切さと難しさも身をもって感じました。そして、保育はチームとなって行なうため、スムーズに連携がとれるよう、子どもの変化等を日々情報共有することで、皆で一人一人の子どもの成長に最善な関わりや環境整備等を考える大切さを改めて学びました。

今でも大学時代では感じられなかった保育の大変さを感じながら、保育の技術を身につけるために学びに向かう日々を送っています。それでも、毎日子どもと関わる中で、成長を近くで感じ、自分が展開した遊びに「楽しい！」と喜んで遊ぶ姿などを見て、とてもやりがいを感じています。今後も、先輩の先生方の助言等を大切に、一人一人の子どもの成長に寄り添った保育が行える保育者になれるよう、日々の保育の振り返りも大切にしていきたいと思っています。

掲示板



Happy Wedding

岩本千尋さん
坂本彩さん

編集委員より

少しずつコロナ禍前の生活が戻ってきており、今年度は学園祭でもたくさんの方々とお会いできたことを嬉しく思います(*^_^*)
また、今回の会報では同窓生の皆様に協力していただき、卒業後に同窓生同士で集まっている写真を掲載しました！ご協力いただいたみなさんありがとうございます！令和6年度もみなさんにお会いできる日を役員一同楽しみにしております！

植草学園大学同窓会 役員一同

植草学園短期大学

会長挨拶

植草学園短期大学同窓会 会長 渡邊 桃子
(児童障害福祉専攻18期生)



卒業生の皆さん、お元気でしょうか。いつも同窓会活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。皆さんご存じの方も多いかと思いますが、来年度で植草学園短期大学は閉校となってしまいます。母校がなくなることはとても残念です。そこで今回の会報から皆さんの思い出の写真やエピソードを載せています。当時を思い返しながら見ていただけたらと思います。短期大学が閉校になっても卒業生の皆様は様々な場所でご活躍のことと思います。

学長挨拶

植草学園短期大学 学長 中澤 潤



大変残念ですが、植草学園短期大学は令和6年末での閉校が決まりました。そして「子ども未来学科」では令和5年4月に最後の入学生を迎えました。現2年生、そしてこの新1年生をしっかりと支援し、希望の職につけるよう、短大教員一同応援して参ります。

令和4年度末に短大では特別支援学校教員2名(1名は専攻科)、公務員保育士4名の採用者を出しています。令和5年度の成果も期待しているところです。

子ども未来学科への応援、最後までよろしくお願いいたします。

お知らせ

1999年に創立し、今年度で創立24年を迎えた植草学園短期大学ですが、令和6年度以降の学生募集が停止されることとなりました。学生時代を過ごした短期大学がなくなってしまうことはとても寂しいですが、思い出がたくさん詰まった植草短大を忘れずにいたいですね。

2023 今年度の活動報告

令和5年5月20日(土)

第23回植草学園短期大学同窓会総会

短大時代や現在の仕事などの話をしたり、ゲームをしたりして楽しく過ごしました!



令和5年11月11日(土)

第13回さくら会抽選会 緑栄祭

今年度も素敵な景品を用意して開催しました! ご参加いただきありがとうございます。



2024 今後の同窓会活動予定

令和6年5月

総会 職場を語る会

来年度も総会と合わせて職場を語る会を開催する予定です。たくさんのご参加お待ちしております。

令和6年11月

緑栄祭

豪華な景品が当たるかもしれません♪お待ちしております!



短大memory

卒業生から植草での思い出を集めてみました!



誕生日を祝ってもらったこと
(17期生 りさき)



ゼミで劇をやったこと
(17期生 かえで)



授業でたくさんふざけたこと
(17期生 みき)



ゼミのみんなで写真!
(18期生 ももこ)



ぎゅうぎゅう詰めの授業、休み時間はピアノ練習か制作か...でも、みんなといたからあっという間だった!
(17期生 みゆき)



短大生活で、授業を受けることが一番多かったのがこの教室! いる時間が長かったので、思い出もたくさんできました!
(21期生 みづき)



青春のステージ! お客さんと一緒に盛り上がる空間、大好きで一生の思い出です!
(18期生 あおい・かおり)

コロナ禍でなかなか活動はできなかったけど、ゼミのみんなと!
(21期生 ちさと)



- ◎ カッコいい先輩を追っかけたこと! (13期生 きよみ)
- ◎ やまろうの研究室でいっぱいお茶したこと (17期生 ちひろ)
- ◎ 学生ホールで隣のクラスの友達と待ち合わせをしたこと (17期生 ちひろ)
- ◎ 学際の人にゼミでシャボン玉をやったこと (17期生 やよい)
- ◎ 授業が終わったらバス停へダッシュをしたこと (17期生 れな)
- ◎ 研究室は遊びに行く場所!
短大がなくなるより、先生方に会えなくなるのが寂しい。(21期生 ひろみ)
- ◎ 授業中に自分の体験談を面白おかしく教えてもらったことが面白かった!
子どもが好きな人たちと一緒に学べたことが嬉しかった。(22期生 きほ)
- ◎ 大変な時期に入学して、思うような大学生活には程遠かったけど、同志をもつ友達が沢山できた。(22期生 まこと)

編集委員より

今年度も同窓会へのご協力ありがとうございました。短大がなくなってしまうことは寂しいですが、ご協力いただいた皆様の記事を見て、学生時代を思い出していただけたらと思います。今後とも短大同窓会をよろしくお願いいたします。

植草学園さくら会会報編集委員 伊藤 楓・内山 知里

植草学園大学附属高等学校

会長挨拶

植草学園大学附属高等学校
会長 木村 昌代



同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。いつも同窓会活動にご協力ご理解をいただきましてありがとうございます。コロナ感染の落ち着いた受け、旅行に行ったり、外食を楽しんだり、平穏な日常が戻りつつあります。高校では文化祭も開催され、同窓生の皆様にもご来場いただくことができました。

さて、高校は創立45年、始まりから今日まで、さまざまな変化を繰り返してまいりました。あんなことがあったね、こんなことがあったね…と。皆様の高校時代一番思い出に残っていることは何でしょうか。

高校は時代と共に進化しています。進化の様子、最近の出来事などはホームページ、X(旧ツイッター)、インスタグラムでも配信しています。ご高覧いただければ幸いです。

私の思い出の一つ
夏服のセーラー服です。
数年しか採用されなかったので
「これ着たよ」という方は
少ないですね。



校長挨拶

植草学園大学附属高等学校
校長 植草 和典



コロナ感染症が第5類に移行され、高校の教育活動もコロナ禍以前に戻ってきました。特に行事や部活動において、行動規制が大幅に緩和されたことで、規制のない生活が如何にありがたいものかを実感しています。

今年度は、277名の生徒が入学して1年生は8クラス体制となりました。利便性の良さに加え、進学率のUPや学校の雰囲気良さが評価されていると感じます。昨年度は、スクールポリシー(教育方針)が制定され、学校の目指す方向が明確になりました。また、「やればできる You can do it!」をスクールモットーとして位置づけました。高校がこれまで培ってきたことを大切にすると共に、新しい教育にもチャレンジしていける学校にしていきたいと考えています。同窓生の皆さんには、これまでと同様に母校の発展を応援して頂けたら嬉しく思います。

母校で教育実習

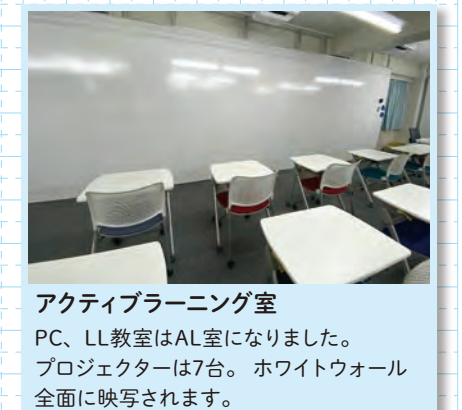
淑徳大学 磯野 舞 先生 (2019年度 普通科 田村智子先生学級 卒業)
淑徳大学 佐藤 花音 先生 (2019年度 普通科 田村智子先生学級 卒業)

2019年度卒業生の2名が、令和5年9月1日より27日までの4週間、保健体育の教育実習生として、母校で教育実習を行ないました。

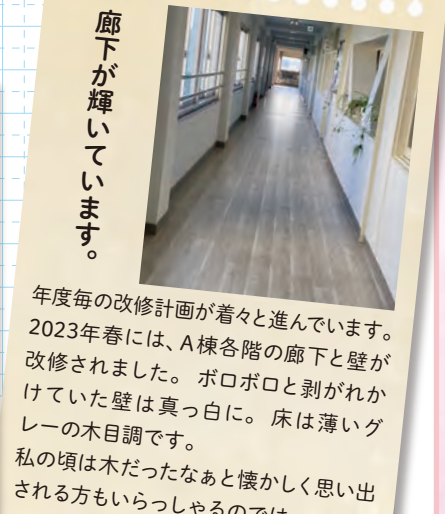
2人とも同じクラス、同じ部活動で、進学先の大学の学部学科まで同じです。体育と保健の授業に加えて、バレーボール部の活動にも参加するなど忙しくも充実した4週間を過ごされました。実習期間中印象に残ったことは、ホームルーム後に担当クラスの生徒から進路についての相談を受けたり、雑談をした時間が楽しかったそうです。

大学卒業後はとにかく教員の仕事に就きたいと意欲満々でした。今後のますますのご活躍で健闘をお祈りしています。

写真左 佐藤 花音先生
写真右 磯野 舞 先生



いろいろ変わりました



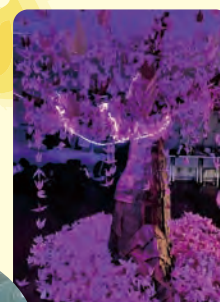
編集
委員より

さくら会会報は、毎年4月～5月頃に郵送させていただいております。このところ転居先不明等で郵便物が戻る件数が増えています。住所変更の際は高校事務室までお知らせください。また、皆様の近況やご活躍の様子などお寄せいただきたいと思います。

植草学園さくら会会報編集委員 木村 昌代

RS年 麗峰祭開催

令和5年度の麗峰祭が開催されました。4年ぶりに一般公開ができ、保護者の方、中学生、卒業生の方も沢山お越しいただき久しぶりに賑やかな2日間となりました。食品の取扱に少々の制限があったものの、各クラスの工夫を凝らした企画、これまでに無かった新しい取り組みもあり、興奮と歓喜に包まれ大盛況となりました。



植草文化服装専門学校、植草家政高等専修学校同窓生より

植草文化服装専門学校 服飾デザイン科 平成3年度卒業 高橋 孝子さん

私は服飾デザイン科で2年間学びました。在学中で一番思い出に残っているのは、1年生・2年生で計2回製作し発表したファッションショーです。

1年生の時はただ先輩方の製作した衣装を着用してショーに参加するだけでしたが、2年生の時はデザインや材料選び、作図、そして縫製に携わり沢山のことを学びました。

その後は、企画デザインの仕事やバレエ衣装の縫製をしていましたが、今は手芸店に勤務しています。お店には、服飾学校の生徒さん達が来店された時、課題や提出物を作成するための相談を受ける事がよくあります。また、お母様方からは、お子様の入園入学準備や発表会衣装作りの相談をよく受けます。

今まで経験して来たことを活かして仕事ができることは、とても嬉しいです。そして自分の想像を作品にする喜びのお手伝い出来る事は、やりがいがあり幸せな事だと感じております。

これからも手芸を楽しむ人のお手伝いをしていきたいと思います。また、私自身も手芸を楽しみながら向上していきたいです。



後列左から2人目が高橋さん



後列右から2人目が高橋さん

植草幼児教育専門学校

会長挨拶

植草幼児教育専門学校同窓会
第14期生 会長 小笠原 晴代

皆様お元気で過ごしてでしょうか。今年度も役員総会を無事終えましたことをご報告致します。さて、国が少子化対策を具体的に進める中、保育現場では保育士不足が課題となっています。一人ひとりに寄り添う質の高い保育を目指す中で、年齢の低い子ども達の多くが早朝から長時間保育園で過ごしているのが現状です。「かわいい子ども達に携わる仕事に就きたい」と夢見ていたあの頃を思い出し、幼専で学んだ保育を今一度、子育て支援・保護者支援のために、そしてご自身の資格を活かすためにも現場に復帰してみませんか。

ぜひご相談ください。ご連絡をお待ちしています。



廣岡紀代美先輩
(11期生)と一緒に

同窓生の窓

植草幼児教育専門学校
第30期生 一戸 直子(旧姓 立宅)

同窓生の皆様、こんにちは。

私は、約20年勤めた植草学園を退職し、今年の4月から肢体不自由児の通園施設でパートの保育士として働いています。新しい職場の環境、仕事、人間関係に最初は戸惑いもありましたが、初めて得る知識も多く、新たな学びの場となっています。学生、職員時代に植草で培ったものは、とても大切なもので、振り返ると全部が思い出です。私に関わってくださった皆さん、ありがとうございました！年齢を重ねて健康の大切さをひしひしと感じる今日この頃。どうか皆様身体に気をつけて、またどこかでお会いできる日を楽しみにしています。



10年永年勤続の時に...



昨年美浜幼稚園でプレクラスを受けもった同僚と



幼専が歴史の幕を閉じてから19年の月日が経とうとしています。令和4年度末をもって閉園した美浜幼稚園(旧附属第二幼稚園)は、現在は満2歳児から園生活を体験できるプレクラスを行っています。今後は更に、地域の乳幼児を育てるご家庭のサポートができるような施設として、新たにスタートを切れるよう準備を進めているところです。時代に合わせて姿を変えまたエネルギーに活躍していく、そんな植草学園のパワーに負けぬよう、私たち同窓生も過ごしていきたいと感じています。同窓生の皆様と再会し、また語り合える日を楽しみにしています！

植草学園さくら会会報編集委員 内山 香菜・小太刀 彩子・小林 亜紀子・堀井 愛美

植草幼児教育専門学校同窓会へ寄付していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。大切にさせていただきます。

会報誌 記事募集

会員の皆様とつながりの場になればと思いますので、プチ同窓会の様子、勉強会の様子など、さくら会会報誌に記事をお寄せください。なお、就職に関する情報等もお待ちしております。

大学キャリア支援課(もしくは各同窓会役員へ)『sakura@uekusa.ac.jp』へお送りください。

令和5年度 植草学園さくら会役員

- 顧問 植草和典 中澤潤 ※令和5年度は総会后に決定します。
- 会長 木村昌代
- 副会長 小笠原晴代 関桃子 半田貴大
- 監事 古野節子 古野碧
- 理事 齊藤京子 景山明子 鈴木朱美 小林鶴枝 信田一美
岡田真貴子 竹村美紀 伊藤楓 内山千里 菅谷咲稀 道正夏生
岡田真帆 坂本愛 渡邊真由
- 企画委員長 道正夏生
- 会報編集委員長 渡邊真由
- ホームページ委員長 伊藤楓
- 代議員 各校より計19名
- 大・短同窓会協力委員会 岩見理華 荒金房子 千葉諭 松原敬子
- 高校協力員 田村尚雄
- 学園事務局長 宮尾孝
- 事務局 キャリア支援課

植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「学園について」→「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

URL <http://www.uekusa.ac.jp/>

会報誌の発送停止・住所変更に関することは各同窓会係まで
大学・短大・幼専：キャリア支援課 043-233-9080
高校：附属高校 043-252-3551

